



西新潟中央病院

NST NEWS 第38号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2017年3月7日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1302

NST委員会からのお知らせ ～JSPEN2017 参加報告～

2月23・24日、岡山県で開催された、第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会（JSPEN2017）に、栄養士の澤田が参加しました。今回はそこで学んだ栄養療法等について、一部ご報告して頂きます。

1. CGMについて

CGMとはContinuous Glucose Monitoringの略で、お腹など皮下のグルコース濃度を持続的に測定する機械のことです。現在糖尿病の治療でよく用いられるHbA1cは、あくまで血糖の平均値を表すものであるため、極端な高血糖、低血糖の存在が見逃されてしまう可能性があります。

最近の研究により、糖尿病合併症や心血管イベントの発症の抑制のためには、HbA1cを下げるだけでなく、食後の過剰な高血糖や夜間の低血糖などを抑える必要があることがわかってきました。

CGMによる持続モニタリングが、糖尿病治療の新たな未来を切り開いていくことと思います。

2. WAVES活動について

現在日本の人口は1億3,000万人程ですが、2060年には人口が8,500万人まで減少し、その内40%が65歳以上の高齢者になると試算されています。このような厳しい状況に対して日本静脈経腸栄養学会では、“We Are Very Educators for Society” WAVES活動を行っています。これは高齢者が低栄養やフレイル、寝たきりになることを防ぐために、医療従事者の有志が町に出て、栄養に関する啓発を行う運動です。

医療現場だけでなく、社会に向けた栄養の働きかけの重要性を強く感じた学会となりました。

(文責：栄養管理室 澤田周矢)



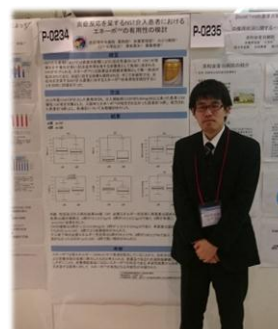
岡山駅前の桃太郎像と路面電車。猿は鬼が怖いのか、桃太郎の裾を掴んでいます。



岡山グルメのフルーツパフェとデミかつ。ロースカツにデミグラスソースがかかっています。



会場の隣が岡山城でした。戦国好きなら知らない人はいない、宇喜多秀家と小早川秀秋が住んだお城です。



澤田と小金澤薬剤師(写真)が発表をしてくれました。来年は横浜で開催です。